

## 『ブラジル・レアル』の相場環境

### ◎ 追加利上げ観測からレアルが買われやすい展開も

- ▶ 2012年秋以降のレアルは、対円ではいわゆる「アベノミクス相場」を背景に急上昇した半面、対ドルでは1ドル＝2.0レアル前後で推移している【図表1】。2013年4月、ブラジル中央銀行は政策金利を1年9カ月ぶりに引き上げた(7.25%→7.50%)。今後の為替市場は、追加利上げ観測やブラジルの景気回復期待などからレアルが買われやすい展開も想定される【図表2】。
- ▶ 利上げの背景には、足元の物価上昇が挙げられる。天候不順による食品・飲料の値上がり等で、2013年3月のインフレ率は中央銀行のターゲット上限の6.5%を超える6.59%(前年比)となった【図表3】。市場では今後もインフレ対応の利上げが続くと見込んでおり、他国との利回り差の拡大が予想される。一方、今回の利上げにはインフレによる実質所得の目減りが個人消費を抑えることを防ぐ意図も考えられる。その意味で、足元の利上げには個人消費を下支えする側面もある。

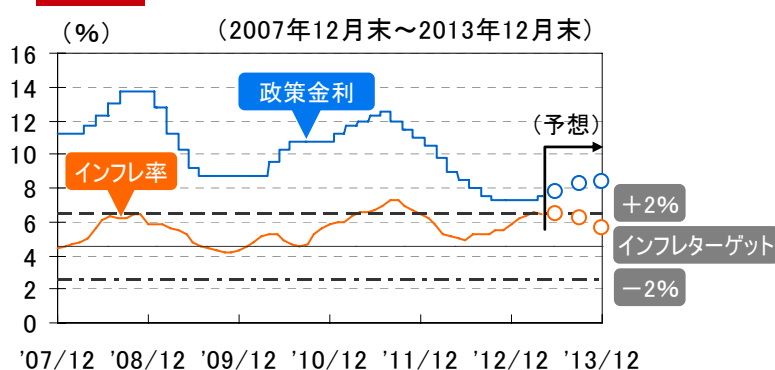
### ◎ 減税による景気回復に期待

- ▶ ブラジルでは、利上げでインフレに対応する一方、財政面での景気刺激策が実施されている。ブラジル政府は2013年1月に最低賃金を9%引き上げたほか、自動車に対する工業製品税の減税を2013年末まで延長すると発表した。その影響もあり、2013年4月の自動車販売台数は前年比29.4%増と好調だ。2012年の自動車販売台数は380万台(世界第4位)で過去最高となったが、今年はそれを上回るペースで販売が進んでいる。
- ▶ 好調な販売にけん引され、4月の自動車生産台数は月間記録を更新した【図表4】。自動車部門は関連産業が多く、ブラジルでも製造業生産の約20%を占めるといわれている。今後は、適切な金融政策や景気刺激策によって生産・消費の回復が期待される。その結果ブラジルが安定的な経済成長に回帰すれば、通貨レアルの魅力が高まると考えられる。

【図表1】 ブラジル・レアルの推移(対円、対ドル)

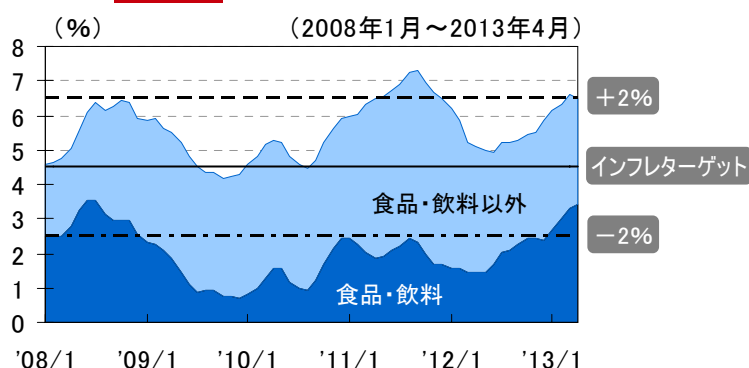


【図表2】 ブラジルの政策金利とインフレ率(前年比)の推移



※2013年4月末時点では、インフレターゲット4.50%の±2%が政策目標の範囲。  
※政策金利とインフレ率は、2013年4月末まで実績。それ以降は2013年5月9日時点のブルームバーグ集計予想値(2013年6月末、9月末、12月末)。

【図表3】 インフレ率(前年比)の内訳



【図表4】 月間自動車生産台数



(出所)ブルームバーグ、各種資料

# 投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は**大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております**。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## お客さまにご負担いただく費用

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

### 直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	料率の上限は、 <b>3.15% (税込)</b> です。
換金手数料	料率の上限は、 <b>1.26% (税込)</b> です。
信託財産留保額	料率の上限は、 <b>0.5%</b> です。

### 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）	費用の料率の上限は、 <b>年2.121% (税込)</b> です。
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。（その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。）

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- ◆ 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ◆ 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。